

特別支援学級後期課程



学びの 카테고리「進路・余暇」(Ⅲ部)

卒業後の進路先について調べたり、職業について調べたりすることで、自分の進路について見通しをもつ。その中で興味をもった職業について体験することで、働くことの意義や、やりがいを学んでいく。また、仲間と一緒に様々な余暇活動を行うことを通して、自分の好きな時間を有意義に過ごす楽しさも味わっていく。ときには身近な人と相談しながら、自己選択、自己決定することを通して、自分の将来の生き方を考えていく。

豊吉 章孝
平野 和俊
佐藤 蒼馬

第9学年4組 年間指導計画 「学びの 카테고리」：進路・余暇（全105時間）

特別支援学級 第9学年の目標	(1) 問題解決力に関わって 自分の目指す姿を決め、願いをもって活動に取り組むことができるようにする。 願いの実現に向けて試行錯誤し、よりよい自分になるために自己選択をして、行動することができるようにする。																	
	(2) 関係構築力に関わって 願いの実現に向けて仲間と一緒に活動に取り組むことができるようにする。 仲間と共に活動に取り組む意義を感じながら、相手や場面に相応しい言動をすることができるようにする。																	
	(3) 貢献する人間性に関わって 体験的な学習を通して、自分と社会とのつながりを実感し、自分の生活に活かそうとする態度を養う。 お客さんや社会で生活する人々の役に立つために、意欲的に活動に取り組もうとする態度を養う。																	
カテゴリ設定の理由	卒業後の進路先について調べたり、職業について調べたりすることで、自分の進路について見通しをもつ。その中で興味をもった職業について体験することで、働くことの意義や、やりがいを学んでいく。また、仲間と一緒に様々な余暇活動を行うことを通して、自分の好きな時間を有意義に過ごす楽しさも味わっていく。ときには身近な人と相談しながら、自己選択、自己決定することを通して、自分の将来の生き方を考えていく。																	
学びの基盤となる道徳的諸価値	○希望と勇気、克己と強い意志 ・向上心、個性の伸長 ・思いやり、感謝 ・節度、節制 ・自主、自律、自由と責任 ・勤劳 ・社会参画、公共の精神 ・遵法精神、公德心 ・友情、信頼 ・よりよく生きる喜び																	
学びを構成する要素	人(自分、仲間、先生、高等部の先生、卒業した先輩、事業所の方) 夢 進路 休日の過ごし方 附属小中学校 進路先の学校 貢献 やりがい 長所 短所 喜び 困難 社会人として マナー お金 施設利用																	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
単元名(時数)	「進路先の学校がどんなところか調べよう」(15)			「何して過ごす？」(10)			「働くって、どういうこと？」(40)			「何して過ごす？」(15)			「これまでの自分 これからの自分」(25)					
主な学習活動	○進路先についてパンフレットや、インターネットを使って調べる。 ○学校見学会を通して進路先について自分の目で見る、自分の耳で聞く。 ○高等特別支援学校、高等部の生活に見通しをもつ。 ○学校生活や学習内容の中で、附属小中学校と同じことや異なることを見付ける。 ○本人の意思を確認したり、保護者と相談したりしながら、進路先の学校を決めていく。			○4組の仲間が楽しめる遊びを計画する。 ○春休みやGWにどんなことをして過ごしたのか交流する。 ○夏休みにしたいことをまとめ、計画を立てる。 ○夏休み前に実践し、どんな気持ちになったのか交流する。			か、何進路先を記録する過程と学が校一番、音楽教育か相談した			○これまでの進路先見学や教育相談で聞かれたこと等を振り返った上で、今後の進路について、確認する。 ○特別支援学校高等部や高等特別支援学校卒業後に働く事業所について調べる。 ○学校の周りにある事業所では、どんな仕事をしているのか調べたり、実際に見学したりする。 ○「働く上で大切なこと」を交流してまとめる。 ○「働く人」になるための目標を立てる。 ○興味や関心をもった事業所で職場体験する。 ○職場体験後、「働く人」になるための目標に対しての振り返りをし、「働く人」になるための目標を再設定する。 ○前回とは異なる事業所で職場体験を行う。 ○職場体験を終え、「働く上で大切なこと」を再構築する。			○お金を使って、やりたいことを考える。 ○活動場所までの行き方や、活動内容について仲間と一緒に考える。 ○公共交通機関を使い、活動場所まで移動し、仲間と一緒に活動する。 ○土日の休みにどんなことをして過ごしているのか交流する。 ○冬休みにしたいことをまとめ、計画を立てる。 ○冬休み前に実践し、どんな気持ちになったのか交流する。			○これまでの活動での自分の成長を振り返る。 ○高等部や高等学校に行くまでに、どんな自分になりたいか目標を立てる。 ○卒業までの残り期間、毎日自分の姿を振り返る。 ○これまでお世話になった方へ感謝の気持ちをどう伝えるか交流する。 ○先輩に伝えたい思いを整理する。 ○先輩に自分たちの思いを発表する。		
想定されるエラー(■) ジレンマ(●) 【道徳的諸価値】	■自分の進路先になる学校は、どんな学校なのかな。 ■調べたいことが見つからない。 ●聞きたいことをどうやって聞くかというかな。 【希望と勇気、克己と強い意志・向上心、個性の伸長・思いやり、感謝・節度、節制・自主、自律、自由と責任など】			■自分が遊びたい内容と、仲間が遊びたい内容が違った。 ●みんなですべて遊べないけれど、ルールを知らない仲間がいる。 【思いやり、感謝・節度、節制など】			■どこで職場体験しよう。 ■どんな仕事をするのかな。 ●仕事の内容を聞いたけど、上手くできるかな。 ●目標に向け、どうやってやるかというかな。 ■注意された、どうしたらよかったのだろう。 【希望と勇気、克己と強い意志・向上心、個性の伸長・勤劳・社会参画、公共の精神・自主自律など】			■お金を使ってどんなことができるかな。 ●仲間と楽しむためにはどの活動がいいかな。 ■活動場所までどうやって行けばいいかな。 ●誰に聞くかというかな。(困ったとき) ●お金は何に使うかというかな 【遵法精神、公德心・社会参画、公共の精神・節度、節制・友情、信頼など】			●自分のできるようになったことをどうやって伝えたいかな。 ■誰に伝えたいかな。 ■先輩のために何を引き継ぐかというかな。 【希望と勇気、克己と強い意志・思いやり、感謝・よりよく生きる喜びなど】					
人材活用施設	・高等部のことを知っている身近な先生 ・附属小中学校を卒業した先輩 ・高等部や高等学校の先生 進路先の学校			・学級や4組の仲間 ・先生 ・図書館 ・商業施設			・4組の仲間 ・事業所の方 ・実際に事業所で働く方 ・地域の事業所			・学級や4組の仲間 ・先生 ・図書館 ・商業施設			・4組の仲間 ・お世話になった先生 ・附属小中学校の校舎					
教科等との関連	・国語：話し方、聞き方 メモの取り方 見てきたことを話す まとめ方(レポートに) ・国語：話し方、聞き方 体験したことをまとめよう 手紙の書き方(お礼) ・数学：数を数える 計量の仕方 ・家庭科：正しい服装 衛生(水の入れ方、机のふき方) 正しい掃除の仕方																	

単元名		本単元の目標			
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性	
働くって、どういうこと？ (40)		学級の仲間とまとめた「働く上で大切なこと」から、自分の姿を振り返り、職場体験での目標を自己決定し、行動することができるようにする。	相手や場面に相応しい言動をすることができるようにする。 学級の仲間や事業所の方と一緒に、活動に取り組むことができるようにする。	職場体験を通して、自分や社会とのつながりを感じながら、社会の人々のために、意欲的に活動に取り組もうとする態度を養う。	
活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> これまでの進路先見学や教育相談で学んだことや聞かれた内容を振り返る。 今後の進路について、確認する。 特別支援学校高等部や高等特別支援学校を卒業後に働く事業所について調べる。 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の周りにある事業所では、どんな仕事をしているのか調べたり、実際に見学したりする。 見学したり、話を伺ったりする中で分かった「働く上で大切なこと」をまとめる。 自分のこれまでの姿と比べ、「働く人」になるための目標を立てる。 (8) 	<ul style="list-style-type: none"> 興味や関心をもった事業所で職場体験をする。 職場体験後、「働く人」になるための目標に対しての振り返りをする。 「働く人」になるための目標を再設定する。 (10) 	<ul style="list-style-type: none"> 前回とは異なる事業所で職場体験をする。 職場体験後、「働く人」になるための目標に対しての振り返りをする。 (10) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所での職場体験を通して、自分がこれまで立てた「働く人」になるための目標と実際の姿の経過を振り返る。 事前にまとめた「働く上で大切なこと」と、職場体験で学んだことを照らし合わせ、「働く上で大切なこと」を再構築する。 (6)
加筆修正欄					
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> 本校卒業後に通うことになる学校を見学し、期待している気持ちを話す。 教育相談を経て、今の気持ちを交流し、今後の進路について確認したいことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の周りにある事業所で、行っている仕事内容や働いている人の様子が分かる。 これまでの自分の姿と比べ、「働く人」になるための目標をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に事業所で体験してみて、働くことの楽しさや大変さが分かる。 働いているときの自分の姿や事業所の方の言葉から、活動の目標を振り返る。 自分のよさや可能性に気付き、活動の目標を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回と異なる事業所、異なる仕事内容でも、変わらずに働くことができる自分のよさに気付く。 自分の立てた目標を意識しながら、体験に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立てた「働く人」になるための目標とそのときの振り返りについて、見直す。 職場体験を通して学んだことを、もう一度、「働く上で大切なこと」としてまとめる。 もっと成長したいという願いをもつ。
実際の姿					
エラー・ジレンマ	●自分の進路がどうなるのか、見通しが無い。	●どんな目標を立てたらいいか、分からない。 ●働く上で大切なことをどう考えたらいいんだろう。	■見学のときに見せていただいた仕事が思ったよりも難しい。 ●新しい環境で緊張してしまうな。失敗したらどうしよう。		

(1) 目標

事業所における職場体験で上手くできたことや、難しかったことなどの自分や仲間の姿を振り返る活動を基に、自分で決めた目標に立ち返り、自分や仲間の成長に気付く活動を通して、自分の目標を再設定し、学校での活動において行動に移すことができる。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

自分の職場体験の姿を踏まえ、自分の目標を再設定し、行動する場を位置付ける。

本時 (20/40)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される生徒の発言)	教師の手立てと見届け
<p>1 本時の活動の見直しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>職場体験を振り返り、目標を見直そう。</p> </div> <p>2 前時までの職場体験を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前回の職場体験を振り返ろう。 ・シール貼りを担当しました。位置を間違えずに貼ることができました。 ・Aさんから受け取った製品を丁寧に袋詰しました。 ・分からなかったときは、事業所の方に質問することができました。 ○自分の目標はどうだった？ ・「任された仕事をやりきる。」という活動の目標は達成できたから、次は「仲間と助け合う。」という目標もできそうだ。 ・目標は達成できなかったけど、「時間いっぱい取り組む。」ことはできました。次こそできるようにになりたい。 <p>3 「働く上で大切なこと」を参考にしながら、「働く人」になるための目標を再設定しよう。</p> <p>4 学校での活動を行う。 (今後、事業所と似た活動か学校での職場体験かを決定する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○振り返ったことを基に、学校での活動に取り組もう。 ・同じような袋詰を担当したい。教えてもらったことを確かめたい。 ・教えてもらったシール貼りをBさんと一緒に練習したい。 <p>5 今日の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今日の学校での活動を振り返ろう。 ・ぼくは、シール貼りを担当しました。目標の「確認しながら取り組む。」ことができたと思います。さらに、「仲間と助け合う。」こともできそうだったので、次はやってみたいです。 ・私は、袋詰を担当しました。目標で決めた「任された仕事をやりきる。」ことが今日もできてよかったです。続けて達成できるように取り組みたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元最初に学級で作成した「働く上で大切なこと」を掲示する。 ○事業所の職場体験に行く前に個人で立てた「働く人になるための目標」を掲示する。 ○事業所での職場体験の中で、それぞれの生徒の目標と関連した写真や動画を提示する。 ○事業所の方からいただいたアドバイスやコメントも資料として黒板に提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ○「働く人」になるために再設定した目標を行動に移すことができるように、事業所で取り組んでいるものと類似した活動内容を準備する。 ○活動前に、どんな姿が目標に近いといえるかが確認できるように、イラストや具体物を使った演示する。 ○生徒が自分自身で再設定した目標を意識することができるよう、活動する机の近くに掲示する。 ○再設定した「働く人」になるための目標を振り返ることができるよう、活動中の様子で、生徒の目標と関連した写真や動画を撮影し、提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか 本時、再設定した目標を意識しながら学校での活動をしようとしている。 (問題解決力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再設定した「働く人になるための目標」を意識しながら、学校での活動に取り組むことができているかを活動中の姿や活動後の振り返りから見届ける。 </div>